S A M E G A W A

さめがわ

[広報] 鮫川村広報誌

No. 586
平成15年2月1日発行
FEBRUARY 2003
2

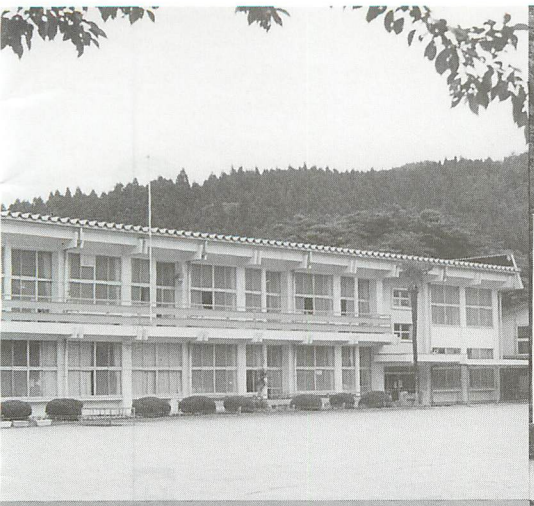
【特集】小学校の新たなスタート

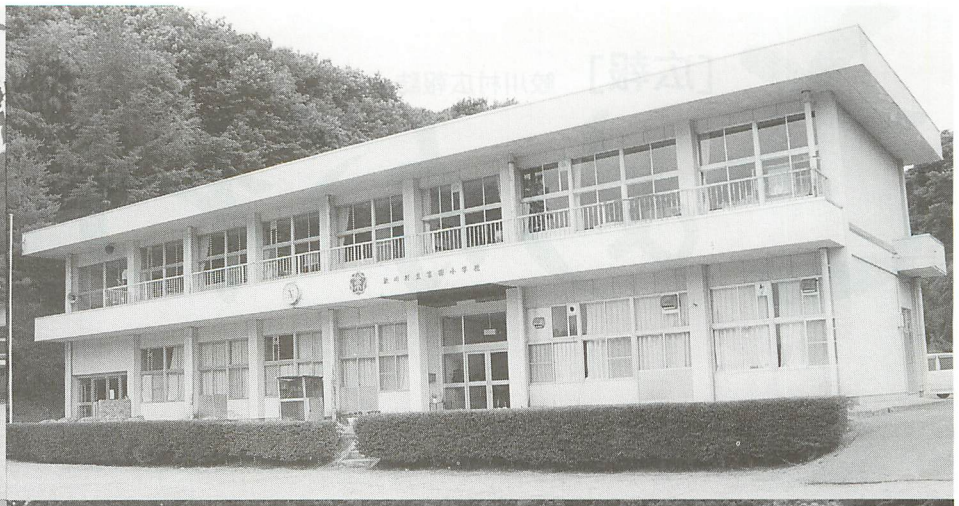


■トピックス&インフォメーション
村営住宅「見渡団地」入居者募集　ほか

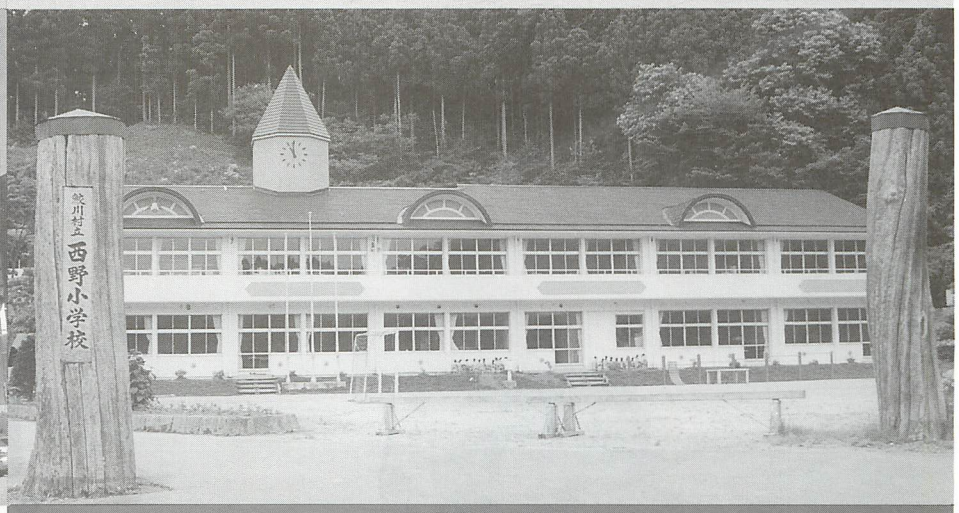
■ほっとニュース
遠ケ竜若衆会が最優秀賞を受賞
伝統的郷土食調査研究事業　ほか

[表紙写真]
鹿角平でそりすべりを楽しむ鮫川保育所の子供たち（1月22日）











（写真説明）

渡瀬小	富田小
西山小	西野小
鮫川小	

村内小学校統合協議会では、平成十三年十月の村教育委員

統合小学校の名称は「鮫川小学校」

※村内小学校統合協議会

各行政区長、村内６つの小学校の校長およびＰＴＡ会長など21人で構成し、村内小学校の円滑な統合を図るため、統合小学校のあるべき姿や諸問題の解決策などについて協議する組織。

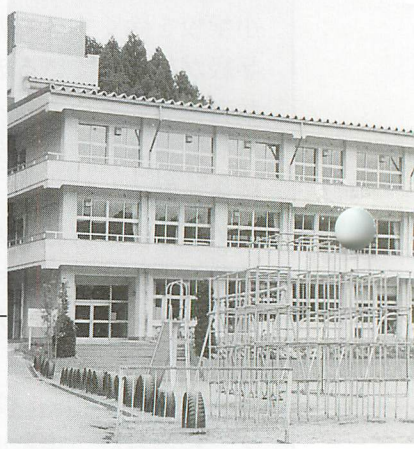
【特集】

小学校の新たなスタート

教育環境の充実に向けて







平成15年４月１日、統合を見送った青生野小を除く
富田小・渡瀬小・西野小・西山小・鮫川小の５校が統合し、
新たなスタートを切ります。
村教育委員会では、昨年５月に「村内小学校統合協議会」を設置し、
小学校の名称をはじめとするさまざまな協議を進めてきました。
１月15日に村公民館で開催された第７回協議会で、
予定されていたすべての事項についての協議がほぼ終了し、
新しい小学校の姿が見えてきました。

村内小学校統合協議会協議結果報告

会臨時会で決定された「村内小学校統合に関する鮫川村教育委員会の基本方針」を基に、統合小学校のあり方などについて協議されました。

今年一月まで七回の会議が開催され、統合小学校の名称のほか、学級編制や児童の通学方法、ＰＴＡ会則の制定など、よりよい教育環境の実現に向けた具体的な話し合いが行われました。

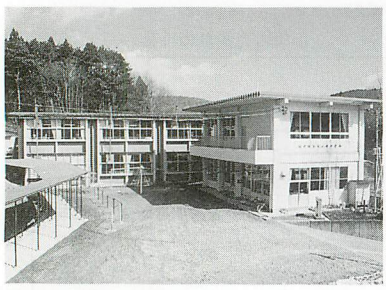
主な協議内容、協議結果については次のとおりです。

■統合小学校の名称について

・統合小学校の名称は「鮫川小学校」とする。

■統合小学校の校歌・校章について

・当面、現鮫川小学校の校歌・



統合を見送った青生野小

●広報さめがわ 平成14年７月号から

小学校統合の背景にある「少子化」という難題

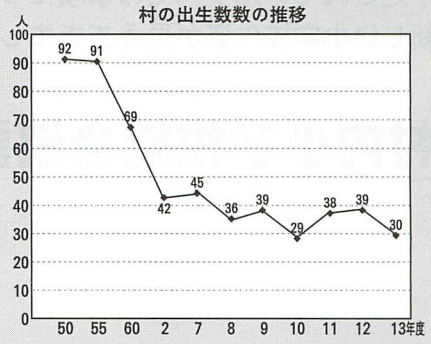
小学校統合―。この問題の背景には、現代社会が抱える「少子化」という難題が存在することは言うまでもない。

住民基本台帳関係資料から村内の出生件数を見てみると、今から27年前の昭和50年度には年間92人の出生届があったが、平成13年度には30人となり、30年足らずの間に３分の１に減少している。（グラフ１参照）

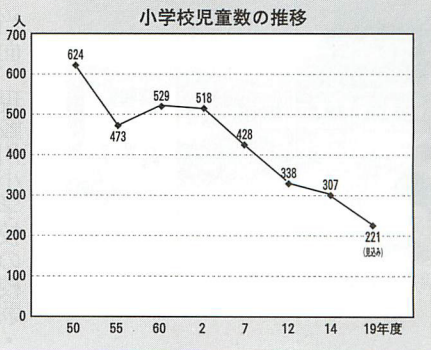
出生数は減少の一途。つまり、学齢児の転入が極端に増えない限り、小学校児童数が減少するのは当然の結果と言える。

実際に、村内６つの小学校を合わせた児童数を見てみると、平成２年度の508人に対し、今年度は307人。わずか12年間で約210人も減少し、鮫川小を除く５つの小学校で複式学級編制を余儀なくされている。さらに、住民基本台帳から今後の児童数を推計すると、５年後の平成19年度には221人まで減少するものと見込まれる。（グラフ２参照）

（グラフ１）



（グラフ２）



校章を使用するが、統合後に見直す必要がある場合は村内小学校統合協議会で協議された次の事項を尊重する。

（統合協議会協議結果）

・統合小学校の校歌・校章は新たに見直すものとする。
・見直しの時期は統合（四月一日）以降とする。
・見直しは、統合小学校の新たなＰＴＡ・学校・その他関係者で行うものとする。

■制服・体育着について

・制服・体育着についてはＰＴＡ・学校で検討する。
・新しい体育着は年度内（十四年度内）に決定する。二～六年生については、当面は従来（各学校）の体育着を利用し、買い替え時に新しいものに改める。
・体育着に校章は入れない。
・名札も検討する。

■学級編制について

・普通学級…十一学級（一学年…一学級、二～六学年…各二学級）
・特殊学級…一学級
・平成十五年度全児童数…二百六十六名（見込み）

■ＰＴＡ会則の制定について

・年度内に統合する五つの小学校の合同ＰＴＡ臨時総会

村内小学校統合に関する基本方針

小学校統合問題は、急速に進んでいる少子化現象に伴い、今や避けては通れない問題となっている。鮫川小学校を除くすべての小学校に複式学級が存在している現状に鑑み、村教育委員会としても、複式学級の解消や同一学年での集団活動の機会の確保を図るためにも、早急に統合を進める必要があると考え、村内小学校統合に関する鮫川村教育委員会の基本方針を次のとおり定める。

１．村内小学校は１校に統合する。
２．校舎等は、現鮫川小学校施設を利用する。
３．統合による通学方法は、遠距離者についてはスクールバスを使用する。
４．統合は、平成15年度から学区民の理解を得られた小学校より、平成17年度を目途として完了する。

鮫川村教育委員会



富田・渡瀬・西野・西山の４地区では、小学校閉校に伴う記念事業の準備が進められています（写真は西野地区の実行委員会の様子）

を開催し、正式に会則を制定する。

■児童の通学について

・スクールバスは六台・七路線運行（小・中学生乗り合わせ、バス一台増車）
・低学年（一・二年）の帰路のみ三台・三路線運行（月・火・木曜日）

■地域の特性を生かした活動について

・地域の特性を生かした活動は何か残したい。
・区民運動会などの開催は困難かもしれないが、検討する必要がある。

■スポーツ少年団活動について

・スポーツ少年団活動については、別組織で検討する必要がある。

■青少年健全育成について

・青少年健全育成推進協議会の事務局を学校に置いている地区もあるので事務局をどうするか、活動はＰＴＡ支部組織で行うこともできるかなど、検討する必要がある。

■学校備品の保管と廃棄について

・保存…既存校保存（保存室を設け、文書・備品などを保管）
・移転…鮫川小・教育委員会へ移転する物品などは、整理・仕分け・搬送する。
・廃棄…不要品は廃棄処分する。

■閉校記念事業について

・地区ごとに閉校記念式典、記念誌発刊、記念碑建立の事業を行う（事業費の二分の一を村が助成する）。

●問い合わせ
村教育委員会教育課☎４９-３１５１


消防車両による村内パレード

無火災を祈願 防火の誓い新たに

平成15年鮫川村消防団出初め式

平成十五年鮫川村消防団出初め式は一月四日、村公民館で行われ、今年一年の無火災を祈願し、防火の誓いを新たにしました。

式に先立ち、消防車両による村内パレードで火災予防を呼びかけたあと、通常点検と水勢披露が行われました。

式には幹部団員約百二十人と来賓約四十人が出席。無火災祈願の黙とう、団長式辞、村長あいさつに続き、無火災分団と優良団員に表彰状が贈られました。

▼無火災分団表彰＝第二分団（十二年三カ月）第三分団（十年十カ月）第四分団（七年四カ月）第七分団（四年十カ月）

▼優良団員表彰＝前田博之、金澤伊佐美（第一分団）白坂雅彦、北條喜浩（第二分団）松崎千弘、生田目敦弘（第三分団）小松則之、藤田浩之（第四分団）渡邊浩佳、中川西宏幸（第五分団）

村営住宅「見渡団地」の入居者を募集します（4戸）

受付は2月12日（水）～28日（金）

現在、赤坂西野地内に建設中の村営住宅「見渡団地」の入居者を募集します。

住宅の所在地　大字赤坂西野字茅三五三番地

住宅の構造　木造瓦葺二階建て

募集戸数　四戸

入居資格　▼すでに同居し、または同居しようとする親族があること▼現に住宅に困窮していること▼収入（所得）が基準内であること

入居者の費用負担　▼家賃…月額二万三千九百円～三万九千六百円▼敷金…入居時の家賃の二カ月分▼その他…電気・ガス・水道の使用料、合併処理浄化槽の維持管理委託料・清掃手数料、テレビ共同受信施設組合の年会費などは入居者の負担となります。

入居時期　平成十五年四月一日

募集期間　二月十二日（水）～二十八日（金）

その他　犬・猫などの動物の飼育は認めません。

■申し込み・問い合わせ　村建設課管理係☎49-3116

あなたの健康にイエローカード

「異常なし」の判定はわずか5%

健診が終わりました。

昨年の十二月に実施した乳がん検診で、今年度の村の健康診査（健診）はすべて終了しました。健診は自覚症状のない身体の異常を発見したり、自分の健康状態を知り、生活習慣を改善したりするための指標となるものです。しかし、一度の健診だけでは体の中に病気の兆候があるかないかという大まかな判断しかできないため、異常が見られた場合には医療機関での精密検査が必要となります。

さて、今年度の基本健診で「異常なし」と判定された方は受診した千五十四人（男性四百五十人、女性六百四人）のうち、わずか五十三人（五・〇%）。そして、何らかの異常があった方は千一人（九五・〇%）という結果でした。そのうち精密検査が必要な「要医療」と判定された方は六百二十四人（五九・二%）となり、実際に精密検査を受けた方は、一月十日現在で二百十三人（三四・一%）です。

昨年、ワールドカップが開催され、日本中が熱狂したサッカーの試合では、悪質な行為をした場合、「警告＝イエローカード」を受けます。これが二度続くと退場となり、その試合には出られなくなります。これを健診に当てはめてみると、「異常がある」（＝イエローカード）と判定されたのに、そのまま放置してしまうと「大病を招く」（＝イエローカード二枚で退場）という恐れもあります。また、「異常なし」と判定された方でも、不規則、不摂生な生活を続けていくと、やがてはイエローカードを受けてしまうことも考えられます。

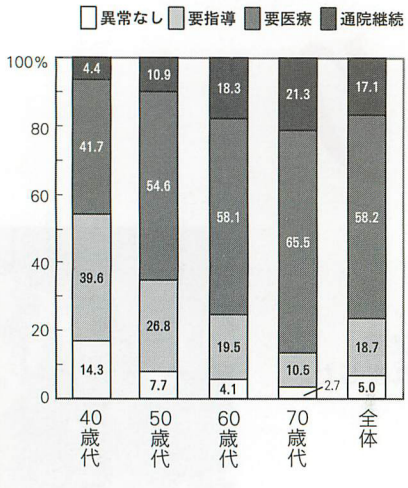
精密検査は早めに

自分の健康は自分で守り作り上げていくものです。イエローカードを受けなかった方は、生活習慣を再確認し、現在の健康を維持しましょう。そして、イエローカードを受けてしまった方は、現在の生活から途中で退場とならないように生活習慣を見直したり、検査や治療を受けたりすることが大切です。

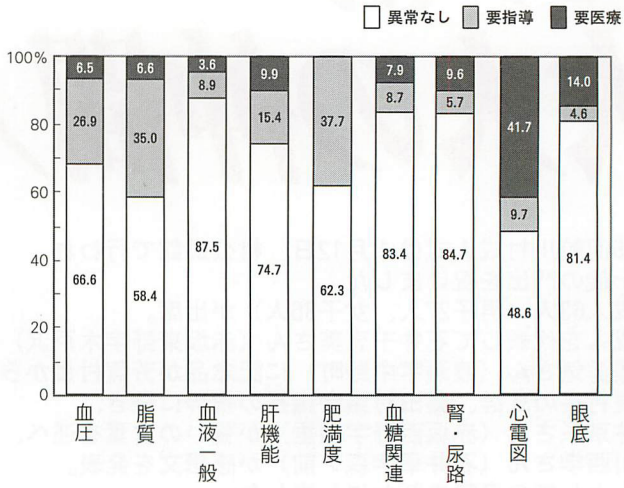
まだ精密検査を受けていない方は、健診の結果と同封されているハガキを持参して早めに医療機関で受診してください。そして、今後も定期的に健診を受け、イエローカードを受けない生活習慣を心がけましょう。

（文・村保健婦　蛭田みゆき）

年齢別判定結果



検査項目別判定結果





新しい役場庁舎の前で記念撮影


大人としての自覚を新たにした成人式

第55回鮫川村成人式

63人が大人の仲間入り

第55回鮫川村成人式は１月12日、村公民館で行われ、
二十歳の門出を祝いました。
新成人63人（男子27人、女子36人）が出席。
新成人を代表して石井千恵美さん（赤坂東野字木戸沢）に成人証書、
遠藤勇気さん（渡瀬字中野町）に記念品が芳賀村長から手渡されました。
芳賀村長の式辞、藤田村議会議長の祝辞に続き、
石井京子さん（赤坂西野字酒垂）が誓いの言葉を述べ、
中川西学さん（石井草字森ノ前）が感想文を発表。
大人としての自覚を新たにしました。
式終了後、昨年完成した役場新庁舎前で記念撮影。
続いて祝宴が催され、和気あいあいと大人の仲間入りを喜び合いました。


友達と写真を撮り合う新成人たち

成人者の感想文から

村に貢献できる人になりたい。それが私の目標でもあり、恩返しでもあります。



石井草字森ノ前
中川西　学さん

このたび、両親を含め地域内外の方々に今日まで厚く支えられ、成人を迎えることができ大変感謝しています。

さて、近年の社会情勢に目を向けても先行き不透明な部分が多く、世相は不景気、政界・財界・官僚の不振、大学をはじめとする教育の混迷、少子高齢化などの問題をはじめ、忘れてはいけない世界を恐怖の渦に席巻させた米国同時多発テロなど不協和音の続く時代です。

日本はアジアの中でも貿易を主とし、物質的には豊かな環境にある国です。逆説的に同じアジアの中でも宗教問題などからかかわりのない子どもにさえ苦しみを与え、飢餓や紛争などで今日にも多くの幼い命が犠牲になっています。そのような身近な近隣諸国の問題に対して、私たちが解決できる術はないのでしょうか。身近に大きなヒントが必ず転がっているはずです。

鮫川村にスポットをあてれば、同じアジアの中でも雇用体制、少子高齢化、さらに福祉の充実など、戦争に比べれば小さな問題に過ぎませんが、鮫川村にとっては深刻な問題です。近年では首都機能移転の在り方だけでなく、江戸時代の行政区分境界に似たものをつくろうとしています。江戸当時の福島県は岩代と磐城の二つの大きな地区で構成されていましたが、その当時に戻るかのように市町村合併をさせ、大きな財源で地域活性化をさせることが重要視されています。現実的に鮫川村も例外ではありません。本村の築き上げてきた行政・伝統・文化・自然などの礎を考えれば、鮫川村をいつまでも存続させてほしいというのが私の願いです。私と同感の村民は多いはずであると思います。現時点で、決して鮫川村の農業・工業・商業・福祉の充実など、マネジメントは満足のいくものではありませんが、そこに活力に満ちた若人が鮫川村産業界の右腕となり、明日の社会を担う若人として貢献できることからはじめ、本村活性化につなげられる人材となってほしいと考えます。

Think Globally Act Locally—「地球規模で考え足元から行動できる」という意味ですが、この考えを導けば自ずと地域社会からやがては国際間に密着できる若者になれるのではないでしょうか。一度に大きなことはできませんが、小さなことからはじめ、やがては大きな集大成へとつなげることができると思います。

鮫川村はだれが見ても山々に囲まれた小さな村かもしれませんが、逆にそれを活かして山村を開発しようと日々努力しています。私はそのような地道な鮫川村が好きです。この気持ちを持ち続け、やがて鮫川村に貢献できる人になりたいです。それが私の目標でもあり、恩返しでもあります。



色あざやかな振袖で会場は華やかに



「鮫川村の将来は俺たちに任せて！」



芳賀村長から成人証書と記念品を受ける石井千恵美さん（右）と遠藤勇気さん

1 NEWS

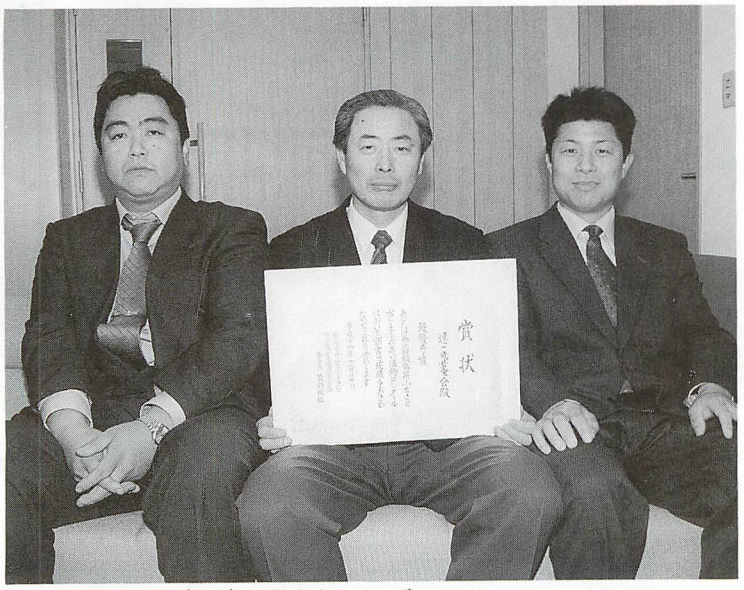
遠ケ竜若衆会が最優秀賞を受賞

県ふるさと水と土ふれあい活動コンクール

遠ケ竜若衆会(森元良会長)は、今年度の「福島県ふるさと水と土ふれあい活動コンクール」で見事、最優秀賞に輝きました。

十二月二十日、郡山市で開かれた「ふるさと水と土再発見2002」の席上、同コンクールの表彰式が行われ、久保内俊應県農林水産部次長から森会長に表彰状が手渡されました。

遠ケ竜若衆会は平成九年、地域の連帯と活性化を図ろうと地元後継者により結成。恒例となった「ニジマス釣り・つかみどり大会」、イルミネーションの設置のほか、遠ケ竜川の清掃、ホタルの幼虫のエサとなるカワニナの放流など自然環境の保全にも積極的に取り組み、地域が一体となった活動が高く評価されたものです。



受賞を喜ぶ森会長（中央）と若衆会のメンバー

2 NEWS

残したい、鮫川村の伝統料理

伝統的郷土食調査研究事業

伝統的郷土食調査研究事業の第三回調理実習は一月十九日、「ほっとはうす・さめがわ」で行われました。

この事業は、昔から伝わる郷土料理を継承するとともに、食生活を見直すきっかけにしようと昨年六月から二カ年計画で取り組んでいます。

大妻女子大学家政学部の茂木直子先生が講師を務め、実習には食生活改善推進員「ひまわりの会」のメンバーらが参加。この日は、大師（太子）講や正月膳など十一月から二月までの季節食や行事食を調理しました。

来年度は冠婚葬祭時の献立についても調査を進め、その成果を冊子にまとめる予定です。


伝統食を調理するひまわりの会のメンバー


昔ながらの正月膳

3 NEWS

無病息災や豊作を祈る

小正月伝統行事「かっくれい」



もちを食べながら交流を深めた「かっくれい」

富田館山会（坂本春光会長）主催の小正月伝統行事「かっくれい」は一月十四日、彦次郎地内の水田で行われました。

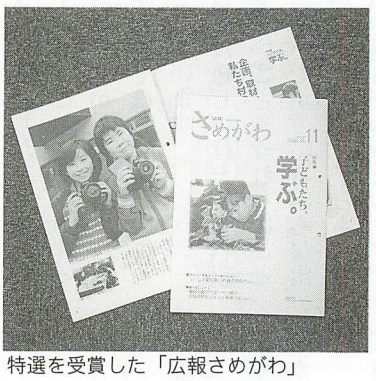
地元住民約二十人が参加。各家庭から持ち寄った正月のしめ縄や松飾りなどを燃やして炭火をおこし、竹ぐしに刺して焼いたもちを食べながら無病息災や豊作を祈願しました。

甘酒なども振る舞われ、参加者らは一年の抱負などを語りながら和やかに懇談していました。

4 NEWS

「広報さめがわ」が特選

福島県市町村広報コンクール



特選を受賞した「広報さめがわ」

第四十八回福島県市町村広報コンクールの審査会が一月二十二日に県庁で開かれ、「広報さめがわ」が広報紙の部（町村Ⅱ部）で最高賞の「特選」、写真の部で「佳作」を受賞しました。

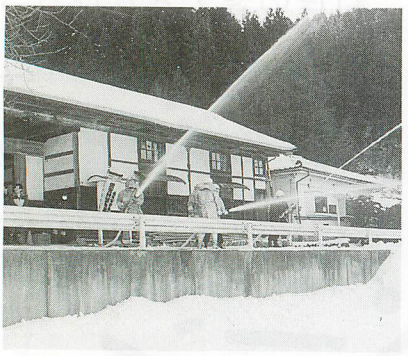
特選を受賞したのは「子どもたち、学ぶ。」と題して特集を組んだ平成十四年十一月号で、引き続き行われる「平成十五年全国広報コンクール」に県代表として出品されます。

このたびの受賞は、村民の皆様をはじめ、関係者のご支援、ご協力のたまものであり、紙上より厚く御礼申し上げます。

5 NEWS

貴重な文化財を守れ！

赤坂家長屋門で火災防御訓練


訓練が行われた赤坂家長屋門

文化財防火デー火災防御訓練は一月二十六日、渡瀬字木之根地内の「赤坂家長屋門」で行われました。

訓練は、「付近の空き地でたき火中、折からの強風にあおられ長屋門に延焼、火勢はさらに付近の山林に延焼拡大中」との想定で、棚倉消防署鮫川分署と村消防団による中継送水訓練や消火栓からの消火防御訓練などが繰り広げられました。

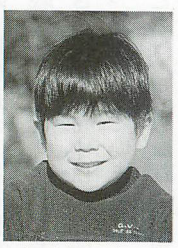
参加者らは、万が一の災害に備えて、機敏な動作で訓練に臨んでいました。

6 NEWS

むし歯のない子は3人

1月16日実施の3歳児健診


石井　美紀ちゃん
西山字大沢


青戸　　励くん
富田字彦次郎


白石　和也くん
渡瀬字青生野

一月十六日に村公民館で実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診した七人のうち三人でした（写真）。

次回の三歳児健診は、四月二十四日（木）の予定です。

村民の皆さんが作るコーナーです。

みんなのページ

我妻啓子さん

Keiko WAGATSUMA

わがつま・けいこ●昭和50年１月生まれ。西山字落合在住。鮫川ハーネス㈱勤務。「子どもたちと買い物に行くのが楽しい」と話す２児のお母さんです。



村民［随想］リレー ㊺

子どもの成長って早いですね。

私には現在、二人の子どもがいます。上の子は三歳、下の子は一歳の女の子です。私たちが共働きのため、日中は保育所に預かってもらっています。

子どもは、大人（親）が思っている以上に育つのが早いんですね。日々成長していく姿を見ると、親としてとてもうれしく思います。その反面、子育ての難しさも感じています。特に、叱ることの難しさです。ときどき叱り過ぎたなって思うこともあります。普段はあまり感じませんが、何カ月か過ぎてふと振り返ると、叱ったときに子どもはどういう気持ちだったかと考えます。悪いことをしたら叱るのは当然ですが、子どもは自分に目を向けてほしくて悪いことをしてしまいます。

子育ては難しいけど、それ以上に楽しいことやうれしいことの方が多いです。いろいろな出来事がありますが、子どもたちの笑顔を見るとホッとします。これからも、みんな健康で元気に暮らせればいいなと思います。

次は、坂本実さん（富田）にバトンタッチ！

俳句

素枯れや草に埋れる福寿草　中井　恒峯
鳶の輪の枯野の先は春の海　金沢　暁舟
菓子皿の和菓子うす紅もも花　矢部　正子
帰省子の朝寝を許す松の内　山本　朗史
元旦や雲一つなき日本晴　鈴木　友蔵
七草や背中の方から熱くなる　斎須　信子
年明けて孫らと交す酒の味　小山田清哲
久方に斧を振るいて薪を割る　北條素人坂
寒中の陽ざし嬉しく布団干す　黒田　寿香
その年の出来を占う雪の料　松本　精一
初貯金孫の喜ぶ姿見る　小松ハルエ
呼べば来る犬のやさしさ春日和　前田　縫子
下校児の何を高声春隣る　山本五十鈴

短歌

くっきりと引く大空の飛行雲今年の運も開けるが如　蛭田　光江
母の遺植となりし紅梅咲き出でて香り漂う元朝の庭　増子　紗久
西の端の空を支える峯の雪はつかに赤くもえ初めにけり　芳賀　常夫
一歩でも近付かんとす師の歌に遠く及ばず幾年過ぐも　森　芳子
書き初めの「夢」を掲げる曾孫らと今年も励む短歌一すじ　坂本　雪絵
懐かしき友との昔振り返り電話で交わす年賀の言葉　根本　恵智

情報の泉

わくわく

WAKU－WAKU

募集

●平成15年住宅・土地統計調査の標語を募集　総務省統計局では、平成15年10月１日現在で「住宅・土地統計調査」を実施するに当たり、この調査にふさわしい標語やキャッチコピーを募集しています。／募集期限…２月28日(金)／応募方法…作品・住所・電話番号・氏名・性別・年齢・職業(小・中学生の場合は学年)を明記し、次の応募先まで送付または送信してください。１人何点でも応募できます。／応募先…①ハガキの場合「〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1 総務省統計局国勢統計課住宅・土地統計調査広報担当行」②ファックスの場合「03-5273-1552」③Ｅメールの場合「housing-land@stat.go.jp」／その他…募集要領については、総務省統計センターのホームページ(http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2003/hyogo.htm)に掲載されています。／詳細…総務省統計局国勢統計課住宅・土地統計調査広報担当☎03-5273-1005

案内

●劇団四季ファミリーミュージカル冒険者たち　～ガンバとその仲間

日時…３月23日(日)18:00開演／場所…棚倉町文化センター「倉美館」／入場料（全席指定）…大人3,000円、小人2,000円／詳細…倉美館☎0247-33-9610

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで。



セピア色の思い出 ㊲

昭和37年1月

昭和三十六年度鮫川村成人式記念

提供／大平忠一さん(富田字二反田在住・62歳)

昭和三十七年一月十五日、昭和三十六年度鮫川村成人式が当時の公民館（現在の役場庁舎の場所）で開催され、出席者一同で撮影した思い出の一枚です。

当時を振り返ると、二十歳になって選挙権が与えられ、大人として社会に参加できるようになったことが、私にとって一番の喜びでした。

私たちの同級生のうち、約一割がすでに他界してしまいましたが、三年前には還暦を祝う同級会を開催し、現在も親交を深めています。（大平）

舞う友の屈める腰もしゃんとせど僅か乍らのテンポの遅れ　蛭田　浩市

孫の手にお年玉よと乗せやれば面輝かしありがとうを言う　関根　米子

小泉さん改革の手の弛むなし時に解散の風吹かせつつ　前田　初

ＮＰＯに奉仕の心求めつつ今日も出てゆくその理事会に　関根　瑞恵

耕しつ耳を澄ませば土よりの蚯蚓の声も聞こゆるごとし　関根　貞子

松籟が胸を打ち来る御前山弊の白さも目を射る如し　鈴木イミ子

主催者が年毎怯ゆる成人日何か不満か若者達は　松本　一郎

思い出を残して孫ら帰り行くホッとするけどなにかわびしい　前田喜三子

合併の波は無言に寄せて来て村里流れに押し潰すのか　北條　平

あやむやに町村合併進むらし遺し置きたい村の文化を　鈴木　クニ

八十路すぎ思い出たぐればこ子育てと農に生き来しわれの生き様　岡部　シゲ

朝の窓開ければ野山輝やけり常より早く雪の訪れ　赤坂　朝子

梅干しとおにぎりあれば生きられるそんな夢見せてやりたい今の世は　前田　栄美

友集い茶を呑み笑い涙して悩みのリハビリと老のわれらは　関根ハナヨ

この村に住んで見たいと裏腹に村民不在の合併は何　叭

小きざみに震動の筆跡にて年賀状来年よりは遠慮と添書き　鷲野谷　満

2月号 くらしの情報 INFORMATION

いきいき生活、応援します。

保健

アルコール関連問題研修会

日時　2月27日（木）午後1時30分～3時30分
場所　ホテルサンルート白河（JR新白河駅前）
内容　①アルコール依存症の家族の体験発表／②講演「アルコール依存症と家族のかかわり」（講師＝大島クリニック院長・大島直和先生）
その他　参加を希望される方は、2月20日（木）までに申し込んでください。
■申し込み・問い合わせ　県南保健福祉事務所障害者支援チーム☎0248-23-1532

助成

芸術文化鑑賞奨励事業 申請は3月31日までに

村教育委員会では、「芸術文化鑑賞奨励事業」を実施し、芸術・文化的公演・展示などを鑑賞した方に、その入場（観覧）料の半額を年間1人2回まで助成しています。

平成14年度分の申請受付は3月31日（月）までとしますので、忘れずに申請してください。

助成対象　村内に住所があり居住する小学生以上の方が対象で、入場料などの額は3千円以上（高校生以下は2千円以上）とします。入場料などの額が1万円を超える場合、奨励金は5千円を限度とします。
申請方法　申請書に入場券などの半券を添えて、教育委員会に提出してください。
■問い合わせ　村教育委員会教育課生涯学習係（村公民館内）☎49-3151

相談

法律なんでも無料相談

日時　2月16日（日）午前10時～午後4時
場所　福島県南生活協同組合2階生活館（白河市天神町、白

いきいき健康通信

県南保健福祉事務所から

結核、忘れていませんか？

戦中・戦後に流行していた結核は、その後減少を続けていましたが、1970年代後半から減少の速度を鈍らせ、県南保健福祉事務所（旧県南保健所）管内では1999年には増加に転じました。

日本で結核が大流行していた戦中・戦後に子ども時代・青年時代を過ごした多くの人は、そのころ結核に感染しています。それらの人々が現在60歳以上になり、何らかの理由で免疫力が落ち、体内に眠っていた結核菌が活動を始めて発病するケースが多くなっています。60歳以上の人が結核を発症して、同居している若い世代に感染する危険性が高くなっています。

県南保健福祉事務所では昨年、「結核検診受診状況調査」を行いました。その結果、調査にご協力いただいた鮫川村の皆さんの8割は毎年、結核検診を受けていますが、80歳以上になると体が不自由で受診できない方も多くなっているようです。

結核かどうか確かめるためには、年に1回は結核検診（レントゲン検査）を受けるようにしましょう。結核検診は村の住民健診のほか、かかりつけの医療機関でも有料で受けられます。

また、咳・痰が2週間以上続くときは結核を疑い、すみやかに医療機関で診察を受けましょう。高齢者の場合は咳や痰がなく、微熱が続く、元気がない、やせてきたなどの症状が出ることがありますので、家族の皆さんは注意してあげましょう。

■結核に関する相談　県南保健福祉事務所感染症予防チーム☎0248-22-6405、村健康福祉課健康係☎49-3113

役場の電話番号

0247-49-3111（代表）

ファクシミリ	49-2651
ホームページ	http://samegawa.site.ne.jp/
Eメール	samegawa@ninus.ocn.ne.jp

【直通電話番号】

総務課	49-3111
住民課	49-3112
健康福祉課	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
建設課	49-3116
環境衛生課	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
公民館	49-3151
農業者トレーニングセンター	49-3295
鮫川幼稚園	49-2358
学校給食センター	49-2113
鮫川保育所	49-2056
渡瀬保育所	48-2050
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555

河郵便局隣）

内容　登記の手続き、土地境界などの問題、戸籍・国籍の問題、高齢者・子どもの虐待、いじめ・体罰、夫婦・家庭内の問題などについて、法務局職員・人権擁護委員が相談をお受けします。

■問い合わせ　福島地方法務局白河支局☎0248-22-1201

年金

保険料の追納制度

保険料の免除を受けたり、学生の保険料納付特例の適用を受けた人が、その後、保険料を納付できるようになったときは、将来、より有利な年金給付を受けることができるように、10年前までさかのぼって全部または一部納付することができます。これを「追納」といいます。

一部納付する場合には、追納する月を選択することはできず、先に経過している月の分から順に納めることになっています。

なお、今年度中に追納する場合の保険料は右表のとおりです。

■追納保険料額（月額）

免除・学生納付特例期間	保険料額
平成4年4月～5年3月分	14,460円
平成5年4月～6年3月分	14,850円
平成6年4月～7年3月分	14,870円
平成7年4月～8年3月分	14,860円
平成8年4月～9年3月分	14,810円
平成9年4月～10年3月分	14,600円
平成10年4月～11年3月分	14,390円
平成11年4月～12年3月分	13,830円

■問い合わせ　福島社会保険事務局白河事務所☎0248-27-4164、村住民課国保年金係☎49-3112

消費生活

20歳前後の契約トラブル

消費者が契約をする場合、未成年者と成人では大きな違いがあります。成人になると自分の意思と責任で自由に契約できるようになりますが、社会経験が乏しいために悪質商法などによるさまざまなトラブルに巻き込まれるケースも多くなります。

未成年者が契約する場合は、原則として法定代理人（両親など）の同意が必要です。同意のない契約は、本人または法定代理人が取り消すことができます。

しかし、20歳を過ぎてからの契約は、この「未成年者契約の取消」はできません。

トラブルを防止するためには、次のことに注意しましょう。

▼甘い誘いには簡単に応じない▼必要がなければきっぱり断る▼契約書や規約に記載されている内容に間違いがないか確認する▼その場で決めないで家族や知人に相談する▼必要ないものを契約しても、8日間以内ならクーリング・オフができます。

■問い合わせ　福島県消費生活センター☎024-521-0999

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介



クレリア（マイケル・グレイニエツ作、セーラー出版）…ちいさな虫クレリアは枝の上で目をとじました。そこへクモがきて、バッタがきて、虫たちに少しずつ寝る場所をゆずってちぢんでいくと…おや？クレリアはどこに…。



ときどき、せつない～わたしらしい恋を育てる50の言葉～（廣瀬裕子著、大和書房）…思いや気持ちは言葉にすることで力を持つ。その思いが深ければ深いほどその力も強い。だから自分の気持ちに自信があるなら勇気をだして言ってみれば？伝えることで広がっていくことってあるから。

お誕生

12月届け出分・敬称略



藤田（ふじた）　冬馬（とうま）／男
平14.12.17生
住所／岡田
保護者／芳明・千代美

おくやみ

12月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
仁田	緑川　ミヨ	12. 9	80歳
広畑	圓井　政利	12.12	81歳
押野	山本　正夫	12.25	72歳

人の動き

1月1日現在・（　）は前月比

人口	4,661人	（+ 6）
男	2,307人	（+ 3）
女	2,354人	（+ 3）
世帯	1,116戸	（− 1）

寄付

12月受理分・敬称略

▶社会福祉事業のために（金員）…
緑川多氣志（仁田）圓井利一（広畑）山本恵子（押野）かぼちゃ美人の会（鈴木リキヰ会長）大竹眼科（石川町）

編・集・後・記

▶お陰様で、「広報さめがわ」が県広報コンクールで最高賞の「特選」を受賞することができました。▶広報は、村民の皆さん一人ひとりのご理解とご協力によって発行することができます。したがって、今回の受賞は、村民の皆さんの「心」が高く評価されたものと確信しています。▶これからも、親しまれる広報紙づくりに努めますので、ご支援とご協力をお願いいたします。　（舟木）

C A L E N D A R

生活情報カレンダー

日	曜	行事など	保健福祉関係
		2月	
1	土		
2	日	村親善インディアカ大会…9:00～ トレーニングセンター	㊡勝田医院（棚倉町）☎33-3008 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415
3	月	図書館休館日	高齢者筋力づくり教室…10:00～ ほっとはうす
4	火		
5	水	保育所開放日(鮫川・渡瀬)	
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 車田病院（塙町）☎43-1019 中島病院（石川町）☎26-3415
10	月	図書館休館日	高齢者筋力づくり教室…10:00～ さぎり荘 4か月・10か月児健診…13:30～ 塙厚生病院
11	火	図書館休館日	㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 塙厚生病院（塙町）☎43-1145 浅川南診療所（浅川町）☎36-3302
12	水		さくらんぼ教室…9:30～ さぎり荘
13	木		献血…9:00～ 役場前、13:30～ トレーニングセンター、15:10～ ㈱泰斗
14	金		
15	土		
16	日	東白川町村親善インディアカ大会…9:00～ トレーニングセンター	㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 中島病院（石川町）☎26-3415
17	月	図書館休館日	高齢者筋力づくり教室…10:00～ ほっとはうす
18	火		ふれあいリハビリ教室…9:30～ さぎり荘
19	水	鮫川保育所一日入所	
20	木	心配ごと相談…10:00～15:00 公民館 渡瀬保育所一日入所	
21	金		社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～ さぎり荘
22	土	チャレンジスクール⑦(スキー教室、～23日)	
23	日		㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 中島病院（石川町）☎26-3415
24	月	図書館休館日	高齢者筋力づくり教室…10:00～ さぎり荘
25	火		
26	水	幼稚園一日入園	
27	木		
28	金		
		3月	
1	土	西野小学習発表会	
2	日		㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 石川医院（塙町）☎43-0003 中島病院（石川町）☎26-3415
3	月	図書館休館日	高齢者筋力づくり教室…10:00～ ほっとはうす
4	火	保育所開放日(鮫川・渡瀬)	ふれあいリハビリ教室…9:30～ さぎり荘
5	水		社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～ さぎり荘
6	木		
7	金		

※㊡は休日当番医

広報さめがわ 平成15年2月号(第586号)
発行■福島県鮫川村　編集■総務課　〒963-8401 東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5　TEL0247-49-3111　FAX0247-49-2651